

区分・種別	県指定有形文化財（彫刻）		
名 称	もくぞうもんじゅぼさつぎぞう 木造文殊菩薩坐像 1 軀		
所 在 地	松山市八反地		
所 有 者	宗昌寺	管 理 団 体	
指定年月日	昭和51年4月16日		
解 説	<p>宗昌寺は、元弘元（1331）年、大蟲<sup>だいちゅうぜんしん</sup>全岑を開山として創建されたといわれ、今は黄檗<sup>おうぼく</sup>宗の寺である。</p> <p>本尊の文殊菩薩坐像は、像高81センチメートル、台座高57.5センチメートル、ヒノキ材の寄木造で、室町時代の作と思われるが、作風にはしっかりとした適確な手法が見られ、鎌倉時代の余風を残す14世紀独特のものである。</p> <p>顔面内<sup>ぐ</sup>割り部に「願主保意佛師 住持全岑 法口 康安壬寅院什」の墨書がある。造立の年と思われる康安2（1362）年は、よく作風の時代と一致している。また、本体裏には修理銘と思われる墨書もある。</p> <p>この像は、同じく宗昌寺にある大蟲<sup>だいちゅうぜんしん</sup>禅師坐像、石造宝篋印塔とともに三者一体のものとして、当時の歴史を知る上で貴重なものである。</p>		

